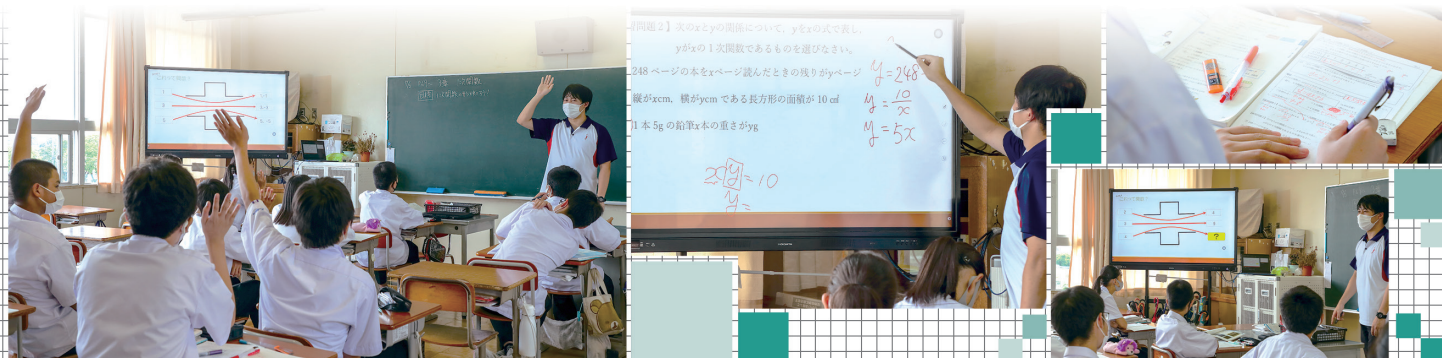


導入事例
らくらく
ボード「らくらくボード」を中心に、楽しみながら記憶に刻む
スピード感、視覚的な面白さ——、電子黒板ならではの数学の授業とは

市立小中学校への電子黒板導入が進む奈良県橿原市で、いち早く「らくらくボード」を活用してきたのが橿原中学校です。同校で中心となってICT活用を進める加賀城優希先生(2年4組担任、数学)は、「らくらくボード」を活用し、「楽しんで学ぶ」数学の授業が行われています。そんな加賀城先生と同校の萩原賢教頭に、「らくらくボード」の活用状況について伺いました。さらに、橿原市教育委員会が学校ICT環境整備を担当する鶴田剛史指導主事にも、電子黒板の導入計画やコロナ禍におけるビジョンなど、学校におけるICTについてお話を伺いました。



導入商品

らくらくボード
IWB-651EB
※スタンドは別売りです。

電子黒板ならではの視覚的な面白さ。楽しく学んで印象に残す

「関数って何だろう」をテーマに、関数の具体例を次々とスライドで表示して、テンポよく、まるでクイズ大会のようなインタラクティブな授業が行われていましたね。

加賀城先生:教科書の文章を正しく覚えることが苦手という生徒は少なくありませんが、この授業の狙いは、まさにそんな生徒たちに具体例を1つでも覚えてもらうことです。スピード感を持たせながら量り掛けることを重視しています。今回は、「関数とは、1つの答えが導き出される問いである」ということを学ぶために、クイズ形式にしています。遊び感覚で気軽に参加しているうちに、楽しい「思い出」の1つとして頭に入れてくればと考えています。

「らくらくボード」の使い心地はいかがですか。

加賀城先生:非常に使いやすく、特に画面に書き込みできるアノテーションモードをよく活用しています。例えば教科書の注目してほしい箇所を示すのに、「何ページの何行目」ではなかなか伝わりませんが、電子黒板にデジタル教科書を表示すれば、「ここ」と言うだけでいい。タッチペンで画面に書き込めば、わかりやすさがさらに増します。



実務の効率化で実現した、ひたすら学びに集中できる環境

先生の授業はテンポが良いだけでなく、内容も濃いものだと感じました。

加賀城先生:従来のような、黒板に書いたり、消したり、プロジェクターを設置するなどの作業から解放されていることは確かです。こういった作業に時間を割くと、生徒の注意力が削がれてしまうんです。黒板を消している最中などに、おしゃべりが始まってしまいます。今までは、集中力を途切れさせないために、プリントを配るタイミングなどに工夫が必要でした。今はそんな心配もなくなりました。純粋に、学びのためだけに時間が使えています。

練習問題を解く際、「らくらくボード」に大きくタイマーを表示されていたね。このようなアクセサリ的な機能はよく使われるのでしょうか。

加賀城先生:授業の冒頭の3分間を使って練習問題を解いていますが、タイマー機能は必須です。担任するクラスでは、学活の際にホワイトボード機能を使っています。連絡事項などを書き込んで、表示しておきたいもの、保存して記録しておきたいものなど、内容に応じた使い分けができますね。

数学以外でも使われているんですね。

加賀城先生:道徳の時間に、生徒の手元のChromebookと連携(ソフトウェアは「ロイロノート・スクール」を使用)させて意見を集めることもしています。挙手をして意見を言うのが苦手という生徒も、匿名制にすると書きやすくなるようで、これならパッと書いてくれます。また、集めた意見を「らくらくボード」の大画面で共有することで、さらに活発な議論につながっています。



活用促進の第1歩として、「使える機能から、難しく考えずに」

今後のビジョンについてお聞かせください。

萩原教頭:今はちょうど過渡期で、先生方も互いに情報共有をしながら、なんとか新しいICTツールを軌道に乗せようと努力しています。加賀城先生のような研究熱心で、知識も十分にある先生方に道を拓いてもらえれば、全体の活用促進につながると期待しています。

鶴田指導主事:教育委員会としては、まずは使える機能から、難しく考えずに始めてくださいと話しています。積極的な先生方の存在は有難いですね。従来の32インチTVしかなかった教室では、デジタル資料を表示することすら困難な状況でしたが、今では様変わりしています。加賀城先生の授業は、電子黒板を中心とした、楽しみながらの学習を体現していましたね。教育委員会としては、導入研修などの支援を通じて、これからもさらなる活用推進を続ける方針です。



取材にご協力いただいた先生



橿原市立
橿原中学校

加賀城 優希 先生



橿原市立
橿原中学校

萩原 賢 教頭



橿原市教育委員会事務局
教育総務部 学校教育課

鶴田 剛史 指導主事



CLIENT DATA

導入学校 / 橿原市立橿原中学校
所在地 / 奈良県橿原市
設立 / 昭和57年